

とみとく 進路だより



富岡特別支援学校
移行支援部 No.9
令和2年2月27日(木)

中学部 作業製品販売学習

中学部で作業製品の販売学習を行いました。作業学習で作った製品を、自分たちでお客様に買っていただくことにより、働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を学ぶ、良い機会となりました。



2月14日(金)、Aコープ富岡店で行いました。今年度3回目で、ビーズやアイロンビーズ製品、陶芸品、花の苗等を販売しました。地域のたくさんの方で賑わいました。毎回、必ず来ていただける人もいて、「いいもの作ったね」「助かるよ。ありがとう」等の温かい言葉をかけていただきました。学校の外に出て、人の役に立ったり、認められたりする経験は、生徒たちの働く意欲を育む上でたいへん有益でした。

高等部 就業体験

高等部で2週間の就業体験を行いました。生徒たちはこれまでの就業体験における自分の課題と向き合い、「働く力」をより伸ばすために目標を立て、取り組みました。

・ 校内における就業体験

今回の校内就業体験は、集会室を工場に見立て、時間いっぱい立ち仕事を続けるようにしました。また昼休みは社員食堂に見立てた教室から、時間を見て休憩室に移動し、始業前に準備を整えるようにしました。生徒たちは、はじめは疲れた様子も見られましたが、徐々に慣れ、普段よりも引き締まった表情で、集中して作業することができました。



・ 産業現場等における就業体験

1年生から数名が、群馬県が主催する職場体験ファーストステップ事業に参加し、主に事務仕事を体験しました。

2年生は福祉サービス事業所や一般企業でお世話になり、職場の方々とともに、やり方を教わりながら仕事をしました。

複数の事業所や会社で就業体験を重ねて自立への自覚と意欲を高め、働く能力や適性を高めていきます。

